様式３(2020.08改)

作成日　令和2年12月3日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000266
事業所名	愛の家グループホーム豊田松ケ枝

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	自治会に加入して毎月の会合には出席をしていた。区長との信頼関係は築けており、コロナ禍でマスク300枚の寄贈があったのは繋がりの証である。「区民だより」にホームの情報掲載を申入れ、更なる繋がり強化に努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議の出席者はガイドライン通り適切に運営している。但し、2月までは対面で行っていたが、4月、6月は控えている。8月は書面での会議を行った。年間4回については市が容認している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の行政上の各種手続きや要求情報の提供は円滑に出来ており連携は密である。市から、この度のコロナ禍で衛生用品等のニーズ照会の気遣いがあった。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入所する時、重要事項説明書「苦情相談窓口」の項で説明をして理解を得ている。普段は電話またはメールで意見を聴くように努めており、常に受け入れる姿勢を持っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

運営推進会議は４回の開催ではあるが、行政はそれを認めている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										